

- ① 土手の上から水の流れや、川原の位置、広さ、川巾などを目測してスケッチの中に入れて。
- ② 水の流れが曲がっている⑧付近を調べる。川原は流れの内側にできているか、外側にできているか。川原につもっている砂やレキがけずられているのは流れの内側か外側か調べる。
- (3) 川原において川の流れを調べる。
- ① ④付近に 20 m の距離をはかり、うきを流して流速を調べる。
- ② ⑧付近で同じようにして内側と外側での流速を調べる。
- ③ ⑧付近で川原から向い岸に進むにつれ、深さはどう変わっているか。
- ④ また、川底につもっている砂、レキはどのように変わるか。水中のぞき箱で確かめる。
- (4) 川原のレキを調べる。
- 川原でのレキや砂のつもり方が平均的な所を選んで 1 m 四方の方形枠で囲う。
- ① レキの大ききで分ける。
- 方形枠の中に入っている長径 5 cm 以上のレキをすべて新聞紙の上に取り出す(表面に見えるレキのみ)。大ききによって 5 ~ 10 cm, 10 ~ 15 cm, 15 cm 以上の 3 つに分け、その数を調べる。
- ② レキの形で分ける。
- レキの形でまるい石、ややまるい石、角ばった石の 3 つに分け、その数を調べる。
- ③ レキの種類
- 川原のレキは、硬砂岩、緑色片岩、花崗岩の 3 種類で緑色片岩や、硬砂岩は阿武隈山地の東縁部に見られる岩石です。

